

試験研究活動情勢報告（平成30年11月分）

【果樹試験場】

カンキツにおける IoT 活用技術の開発に向けて④



アイトラッカーを装着してユズを収穫

果樹試験場では、新規参入者等への技術移転、技術力向上を目指す方法として、熟練者の栽培管理作業及び好適樹体条件の可視化を検討しています。被験者の視線が記録できるアイトラッカー（眼球運動計測器）により各種作業（収穫・選果、せん定）実施時の映像化と注視点、注視から実行までの時間等を分析して、作業の要点を明示し、新規参入者を支援していきます。

針木ナシ勉強会



今年度の試験研究を報告する松島研究員

針木ナシ出荷組合が今年の作柄を振り返り、来作柄に向けて勉強会を果樹試験場で生産者約20名が参加し開催しました。果樹試験場からは今年の気象条件や生育概況、試験研究課題で取り組んでいる温暖化対策について情報を提供しました。また、簡易環境制御実施圃場や新樹形試験を行っているほ場を案内しました。生産者からは、温暖化対策効果について熱心に聞かれました。